

# 長畝ふるさと通信

【2012年5月号】

## ■ 野生放鳥トキのヒナ誕生記念「田植特集」

ついに待望の野生放鳥トキのヒナが誕生しました。現時点では8羽が確認されています。これまでトキの野生復帰に向けて様々な取り組みをしてきましたが、ヒナの誕生は大きな成果です。「やっとトキが暮らせる環境が整ってきた」という実感が湧いています。これから益々田んぼの重要性が問われるだけに、身の締まる想いです。バンザイ！

## ■ 5月は田植え、田植え、田植え！

5月6日から始まった田植えは、朝7時から夕方6時までみっちりで行いました。天候にも恵まれ、ほぼ休むこともなく順調に進み、22日に終了しました。

右は代かき(田面を平らにならして、田植えのできる状態にする作業)を終えて、まさに田植えを待つ田んぼです。水面が鏡のように周りの風景を写します。



ボクのアツ機「ヤンマー側条2号」です。田植えをしながら肥料も除草剤も同時に散布する優れたものです。



運転席から見たコックピットはこんな感じで、苗がなくなったり、肥料がなくなったりすると親切に教えてくれます。

## ■ なぜ田植えは真っ直ぐに植えられるのでしょうか？



何の目印もない広い田んぼを、田植機はどうやって真っ直ぐに進んで田植えができるのでしょうか。そのヒミツは・・・① 田植え前に田んぼの水を田面ヒタヒタまで抜いておきます。② まず真っ直ぐな畦に沿って1列目を植え付けます。その時田植機の横に伸びている「マーカ―」に注目

ここがミソ



③ このマーカ―が次の田植機が進むセンターをしっかりと案内してくれるんです。水が多いと跡が付きません。



このマーカ―の跡が次のセンターとなり、田植機の前にある黄色いアンテナがそれを追いかけていくという仕掛けです。

### ■ 生物多様性田んぼにはこんな生きものたちがいます



ビオトープの主、ウシガエル



恐竜みたいなアカハライモリ



モリアオガエルの卵はメレンゲ状



クサガメの赤ちゃん



赤とんぼのヤゴの抜け殻



ひと休みのアマガエル

### ■ 日が暮れて・・・

一日の田植えが終わると夕日が暮れかかっています。お米づくりも前半戦が終了しました。おいしい米が採れるまであと5ヶ月あまり。明日からまた、毎日田んぼへ出かけていきます。大変でもあり、楽しみでもあり。





- 平成24年産「朱鷺と暮らす郷」コシヒカリの年間玄米予約購入会員を募集します。現会員の皆様はもちろん、日本中に広めていきたいと考えています。皆様の御支援、御協力をお願いいたします。申込書は次号のふるさと通信に同封致しますので、宜しくお願い致します。